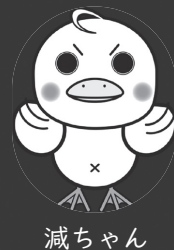




「減ちゃんのごみ分別相談所」

ごみ袋のお話

生活環境課
ごみ減量推進係

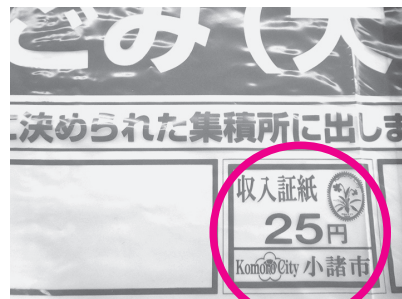


ごみ指定袋の処理手数料

小諸市は、平成18年からごみ指定袋（燃やすごみ、埋立ごみ、生ごみ）の有料化を行っているよ。

これはごみを排出する人が、ごみ処理にかかる費用の一部をごみ処理手数料として負担する制度で、袋の本体価格に手数料を加えた価格で販売をしているんだ。【ごみ袋の本体価格】＝袋代＋ごみ処理に係る費用の一部

例えば、燃やすごみ（大）には、袋1枚につき、ごみ処理手数料25円の収入証紙が印字されているよ。



処理手数料の金額が
印字されているよ

きとんと分別すれば、ごみ処理費用が減らせる！

ごみを処理するには、とても多くのお金がかかるんだ。税金でどの程度負担するのは、自治体によって違うから、ごみ指定袋の価格は自治体ごとに異なるよ。

また、分別回収をしている「缶やびん」、「ペットボトル」、「古紙類」や「プラスチック製容器包装」の資源類には、この手数料の負担がないよ。

分別をしっかりすることで負担するごみ処理費用も減らせるね！

生ごみ、古紙類は燃やすごみと一緒に入れないようにしよう！



クリーンヒルこもろを長く使うために



クリーンヒルこもろでは、令和5年度に6,600トンのごみが焼却されたんだ！1日に約18トン（大きい燃やすごみ袋4000個分）にもなるよ！とっても多量だし、お金もかかるし、エネルギーもいっぱい使ってしまう・・・。また、今以上にごみが増えていくと、もっともお金もエネルギーも必要になってしまう。だから、一人ひとりが資源を分別して、ごみの減量を意識した取り組みをしていこうね！

「ゼロカーボンシティこもろ」を目指して⑮

こもろのみんなで、未来の“こもろ”のために

“こもろゼロカーボンミニ作戦”を実施しました

ゼロカーボン推進室

ゼロカーボンの達成には一人ひとりの意識と行動変容が必要です。日常にある“気づき”と“きっかけ”から、家庭でできる省エネ行動や無理なくできるゼロカーボンに繋がる取り組みを知ってもらうために、環境学習事業として“こもろゼロカーボンミニ作戦”を行っています。

【第1弾】実験ショー型環境教育プログラム

CO2（二酸化炭素）排出量を減らそう

「実験＆クイズにチャレンジ！どれだけ減らせる？ CO2 ショー」



エンジンの仕組みを実験で紹介したり、目に見えない二酸化炭素の量をバルーンで体験するなど、省エネの方法やその効果を学習しました。

【第2弾】体験型環境教育プログラム

こいで風を感じよう！

自転車で発電体験 in 野岸フェス



エアロバイクで発電し扇風機を回すことで消費電力の違いをペダルの重さで体験しました。

▶▶▶ 体験型の環境学習・啓発活動を、今後も市内外各イベントでの実施を予定しています。